



2022年6月17日

各位

会社名 高島株式会社
代表者 代表取締役社長 高島 幸一
(コード番号 8007 東証プライム)
問い合わせ先 IR・広報ユニット
TEL 03 - 5217 - 7248

2022年3月期決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は、2022年5月26日に開催いたしました、機関投資家・アナリスト・報道関係者様向け2022年3月期決算説明会（オンライン説明会）および決算発表後の1on1ミーティング等においていただいた主な質問をまとめたものです。

なお、ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q1. 電子・デバイスセグメントについて、2022年3月期は増収増益でしたが、2023年3月期の業績は増収減益予想となっています。この要因について教えてください。

A: 電子・デバイスセグメントのセグメント利益を減益予想としている要因ですが、主に当セグメントにおける商材ウェイトの変化や、業績拡大に向けた海外工場ラインの設備投資の増加による費用の増加に起因するものです。

Q2. 適合計画書にて説明されていた70億円規模の投資について、投資方針や戦略などはあれば教えてください。

A: 70億円の投資枠は2022年3月期～2026年3月期までの5年間の投資枠として設定しており、用途はM&A、設備投資、人財投資、IT投資などを想定しております。
投資方針・投資戦略については、各セグメントの事業領域の中で機能強化、または周辺領域において事業拡大を図れることを前提として、積極的に案件を検討しております。なお、投資方針・投資戦略の詳細については、2023年3月末までに次期中期経営計画とあわせて公表したいと考えております。

Q3. 適合計画書にて説明されていた70億円規模の投資について、現段階で具体的に進捗しているものがあれば教えてください。

A: 2022年3月期は、電子・デバイスセグメントにおける海外工場ラインや産業資材セグメントにおける設備投資、人材投資の実施等を含め、約7億円の投資を実行しております。70億円の投資枠については、事業の拡大、また事業の拡大を支える経営基盤強化の為に活用してまいります。

Q4. 昨今、サステナビリティやESGに対する企業の開示や取り組みが注目されておりますが、これらに対する現況について教えてください。

A: 当社グループは、創業当時より「事業を通じて社会に貢献する」ことを企業使命として掲げており、オリジナルな発想を活かした当社グループならではの方法で社会にアプローチすることで世の中に役立ち、その結果として当社グループも発展したいと考え、長らく事業活動を行ってきました。

この企業使命を果たし、サステナビリティに関する取り組みを推進すべく、2022年1月1日付でサステナビリティ委員会を設置しております。

サステナビリティ委員会のなかで、持続可能な社会づくりのための、当社グループの重点課題、いわゆるマテリアリティの特定や、TCFDの開示について討議しております。

本年6月末頃、当社Webサイト上で開示予定の統合報告書において、当社グループのマテリアリティやTCFDについて開示すべく準備を進めておりますので、統合報告書開示までお待ちください。

以 上